

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

| | |
|------|--|
| 対象部局 | 法学研究科 |
| 大項目 | 6 教育内容・方法・成果 (研究科) |
| 中項目 | 6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針 |
| 小項目 | 6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。 |
| 要素 | 学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示 |
| 小項目 | 6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。 |
| 要素 | 教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示 |
| 小項目 | 6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員(教職員および学生等)に周知され、社会に公表されているか。 |
| 要素 | 周知方法と有効性 社会への公表方法 |
| 小項目 | 6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。 |
| 要素 | |

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

| 2009年度に設定した「目標」 | 左記目標の「指標」 | 進捗評価 | | | | |
|--|---|------|------|------|------|------|
| | | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 |
| 1. 教育目標・学位授与方針についての学外への適切な公表方法を検討し、実施する。 | →「大学院問題検討委員会および広報委員会における公表方法の検討とその進捗状況」「公表実績ないし公表状況」「教育目標・学位授与方針についての入学者へのアンケート調査の実施」「公表による効果についての大学院問題検討委員会における検証」 | C | B | B | | |
| 2. 研究者養成と高度専門職業人養成との各目標に対応した適切な学位授与方針を設定する。 | →「学位授与実績とその分析」「大学院問題検討委員会における学位授与方針の検討」「内規の改正」 | B | B | A | | |
| 3. 前期課程および後期課程の学位授与方針と適合的な教育課程の編成方針であるかどうかを定期的に検証する。 | →「前期課程各コース別の修了要件についての検討とその進捗状況」「後期課程の修了要件ないし履修モデルの検討とその進捗状況」「規定ないし内規の改正」「大学院問題検討委員会における検討状況についての研究科委員長への定期的報告」 | C | B | B | | |

☆

| 2010年度以降に設定した「目標」 | 左記目標の「指標」 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 |
|-------------------|-----------|------|------|------|------|------|
| | → | | | | | |
| | → | | | | | |

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

| | |
|-------|---|
| 目標1 | 教育目標はすでに法学研究科のホームページに明示されていたが、学位授与方針については、2011年度に設定され、2012年度にホームページに明示された。新入生へのアンケート調査は行われたが、具体的に教育目標、学位授与方針についての質問はなかった。 |
| 目標2 | 大学院問題検討委員会において学位授与方針を作成し、研究科委員会で審議・決定し、それに基づいて内規を改正した。 |
| ★ 目標3 | ディプロマ・ポリシーと同時に、カリキュラム・ポリシーを作成した。そして、年度初めの大学院運営委員会（旧大学院問題検討委員会）にて検証し、研究科委員会に報告するという、定期的検証のシステムを構築した。 |
| 備考 | |